

分明攻守千年勢 著論誰道賈誼風

とあるが、之は明治維新によつて皇政復古が成り 天皇東京に
 奠都し給ふべき豫言とも見られる。而かもその基く所は、山崎闇
 齋の流れを汲んだ神道、荷田春滿の復古神道、加茂眞淵の國學等
 あらゆる方面から皇室中心主義を研鑽し盡くした搞檢校の指導に
 あつたことを思ふとき、盲人にして而かもこの懣慨家を鼓舞激勵
 したその指導力の偉大なる洵に驚嘆に値するのである。畢竟山陽
 外史をして、その詩の中に、「歴歴興亡指點間」と叫ばしめし原動
 力は一盲人搞檢校のに胸あつたと謂はねばならない。檢校をして
 かりに現代に在らしめば、吾々の進む可き道を的確に指してくれ
 ることであらう。國を擧げて大東亞戰爭に幕直進前しつゝあるの
 今日、皇道を普及せしめむがためには、如何なる筋道を辿るを可
 とすべきか、東亞の赤道を制しこの地域に盛なる經綸を行はんと

第二回道路愛護日實施に關する概要

するには果していかなる道程を以てすべきか。大東亞共榮圈の必
 要とするルートはいかなる路線を取るべきか。凡そこれ等の諸問
 題皆一様に搞檢校の有らたりしが如き明察を以て處理決定せられ
 なければならぬ。瞎眼者の兩眼が反つて色眼鏡で見たり、偏見
 に陥つたり視角を間違へたりして、反つて盲人の心眼に及ばぬこ
 とのあるのを警戒すべきである。況んや「無知を以て道を蔽ふ」
 (ヨフ記)ことなきや各自夫々猛省すべきものなることを特に強調
 したい。それには唯徒に空想に馳せ北斗の杓をとつて酒を酌むや
 りな考ではいけない、必ずや精密周到なる資料を調べて以て眞に
 合理的、科學的なる立案をなし着々之を實行に移すことに行
 きたいのである。

群馬縣土木課長

昨年十月第一回道路愛護日を實施せるに就役人員十四萬餘名、作業延長國府縣道一、二〇〇軒、市町村三〇〇軒に及び豫期以上の成果を収めたるに依り昭和十七年春期として第二回道路愛護日を計畫し四月二十二日附を以て各關係者に對し協力方の依頼狀を發送せり。

昭和十七年四月二十二日

經濟部長
總務部長
學務部長
警察部長

市町村長殿
道路愛護會長殿
中等學校長殿
青年學校長殿
國民學校長殿
男女青年團長殿
警防團長殿

道路愛護日實施ニ關スル件

客年十月第一回道路愛護ヲ設定シテ愛護作業實施ノ際ハ多大ノ御協力ニ依リ豫期ノ成果ヲ收メ候處、更ニ來ル五月九、十、十一日ノ三日間ヲ第二回道路愛護日ト定メ別紙趣旨ニ基キ實施可致候

條、右御了承ノ上前同ノ例ニ準シ進シテ道路愛護作業ニ從事シ交通上ノ完壁ヲ期シ地方福祉ノ増進ニ努メラレ度比段及依頼候也
追而 作業實施ニ當リテハ所轄土木出張所長ト御協議相成度
道路愛護日設定趣旨

交通機關の整備は文化の普及並に産業の興隆に最も密接なる關係を有し之が施設の良否は地方の發展に影響する所尠からず、就中道路は普く地方に分布せられ其の利用範圍廣汎にして之が改良は地方開發上極めて緊要事なりとす。

從來縣は國道、府縣道の維持改良に努むるの外市道、町村道に對しても縣費補助の途を講じ銳意之が改良助成に努めつゝあり。今や本縣に於ける國道、府縣道の延長は二千三百五十餘軒に達し、市町村道は約一、五倍に及び、交通網は稍々完備したりと雖大東亞戰爭の影響により交通量著しく激増せるを以て之に對應して道路の維持を圖るは愈々緊要なるを痛感す。

顧るに往時に於ては地元部落民が其の關係道路を愛護し、自發的に所謂「道普請」をなし其の保持整備に努めたる美風良俗の漸次頽廢せむとする傾向にあるは洵に遺憾とする所なり。

縣に於ては道路に關する公共心を涵養し道路愛護の思想を普及するの緊切なるを認め、昭和十一年群馬縣告示第二三〇號を以て道路愛護獎勵規程を制定し之が積極的獎勵に意を用ひ相當の成績を収めつゝありと雖、未だ愛護團體に加入せざるもの尠からざる

状態にして豫期の目的を達するに至らず。従て之が完璧を期せんには一に道路愛護の精神を強調喚起し以て之が成果を擧揚するの要あり、依て道路愛護日を定め縣下一齊に道路愛護作業を實施せんとす。

希くは擧縣一致道路愛護作業を實行し、時局下奉公の實を擧げ所期の目的達成に協力せられん事を切望す。

(土)

昭和十七年四月二十二日

經濟部 長

各土木出張所長殿

道路愛護日實施ニ關スル件

來月五月九、十、十一日ノ三日間ヲ道路愛護日ト定メ昨年ノ例

ニ準シ愛護作業ヲ實施スルコトト相成本日關係ノ向ニ對シ通牒相

成候條、實施ニ當リテハ可然取計ヒ相成度

(土)

昭和十七年六月二十二日

經濟部 長

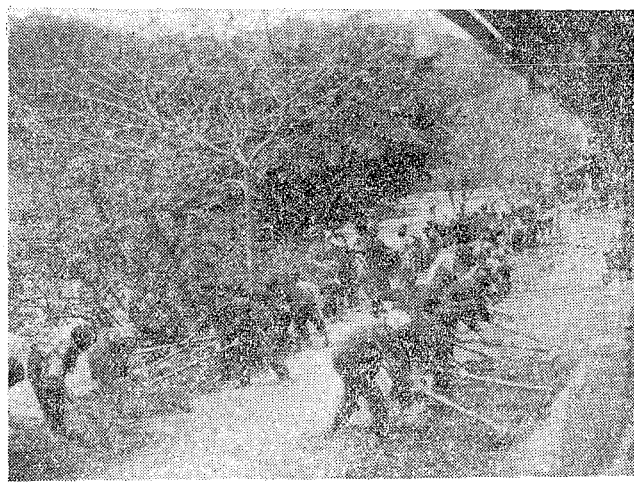
警察部 長

各警察署長殿

道路愛護日實施ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ客年十月實施シ多大ノ御協力ニ依リ豫期ノ

成績ヲ收メ候處、本年モ亦來ル五月九、十、十一日ノ三日間ニ互リ實施スルコトト相成候ニ付テハ前同ノ例ニ準シ所期ノ目的達成



北甘樂郡小坂村西國民學校兒童の作業

ニ格段ノ御援助相成度

今回は團體數八三六團體、就役人員一九八、〇〇〇餘名、作業

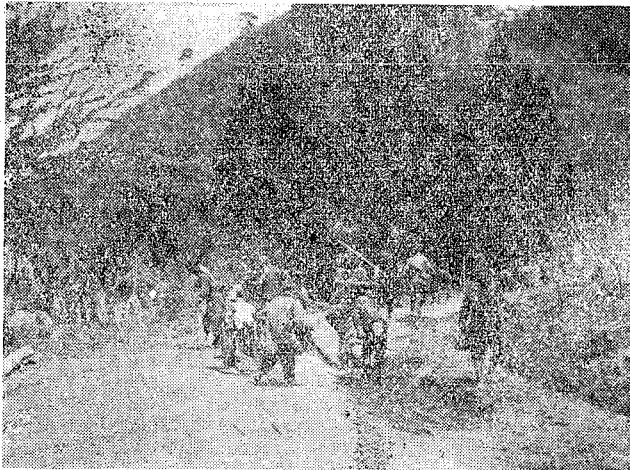
延長國府縣道一、五一三料、市町村道七四七料に及び、且つ縣警
 察部主催交通宣傳實施に日を同じくになりたる爲、自動車業者より



北甘樂郡下仁田町壯年隊の作業

今日の燃料不足の折柄にも拘らず土石の運搬に協力を得、又内務
 省よりは特に近藤事務官、片平技師、宇都宮技手の諸氏を迎へ詳

に作業の状況視察等に一段の活氣を加へ豫期以上の成果を收めた
 り。



利根郡新治村生井國民學校兒童ノ作業

此の盛況を左記の通活動寫眞に納めたり。

道路の改良 第二十四卷 第八號

第一班 道路愛護日映畫撮影箇所調

出張所名	團體名	參加人員	路線名	箇所	日	時	巡視者
藤岡	小野村警防團	二五〇	前橋藤岡線	多野郡小野村	九日前	九、三〇	警察部長
前橋	木瀬村國民學校 男女青年團	五〇〇	前橋館林線	勢多郡木瀬村天 川大島並木	後	一、四〇	
桐生	川内村第一、二部落 常會	九〇〇	駒形大間々線	山田郡川内村高 津戸	一〇日前	一〇、〇〇	土木課長
館林	六郷村警防團	五〇〇	館林忍線	邑樂郡六郷村	"	後 一、〇〇	"
伊勢勢	三郷村道路愛護會	三五七	伊勢崎大胡線	佐波郡三郷村波 志江	一一日前	九、三〇	經濟部長
太田	毛里田村國民學校 實踐女學校	八一五	伊勢崎足利線	山田郡毛里田村 只上	"	前 一、〇〇	學務部長
第二班 道路愛護日映畫撮影箇所調							
出張所名	團體名	參加人員	路線名	箇所	日	時	巡視者
富岡	縣立富岡中學校	六五〇	原市一ノ宮線	北甘樂郡富岡町	九日前	一〇、〇〇	學務部長
安中	安中町青少年團 秋間村青少年團	三〇〇	安中伊香保線	碓氷郡安中町城 下橋下	"	前 一、三〇	保安課長
高崎	大類村青年團	四〇〇	高崎伊勢崎線	群馬郡大類村	"	後 二、〇〇	
澁川	桃井村青少年團	三五〇	桃井總社線	群馬郡桃井村	一〇日前	九、〇〇	內務省 近藤事務官
中之條	中之條町國民學校	一、四八〇	中之條上田線	吾妻郡中之條町	"	前 一、〇〇	內務省 片平技師
沼田	薄根村國民學校	三〇〇	國道九號線	利根郡薄根村	一一日前	一〇、〇〇	學務部長

右各班仕上フィルム五〇〇呎とし二卷を製作せり。

以上土木出張所別実績左の通り

第二回 道路愛護日作業実績表

土木出張所名	團體名	出役人員	作業延	
			國縣道	市町村道
前橋	五五	一八、六四〇	六九、四〇〇	九九、〇一三
高崎	五八	一六、六五五	八一、六〇〇	三三、三〇〇
澁川	五八	一一、一四九	一〇六、八九九	三四、一三〇
藤岡	五九	一三、八三一	二四一、二〇〇	二一、三〇〇
富岡	六六	二〇、五九〇	一八六、九五八	九五、二四三
安中	五三	一一、三八二	一三二、六八五	五九、七五〇
中之條	一四六	一七、四九七	一七〇、二四五	九三、九六五
沼田	一五七	一五、四一七	一九七、一一一	一三二、五六七
伊勢崎	二二	一三、二五三	七七、四七四	
太田	三五	一五、三六〇	八四、五六六	一四、五〇〇
桐生	七九	三〇、三七一	七二、八四七	一三〇、一二〇
館林	四八	一三、七九〇	九二、二七六	三三、四〇三
計	八三六	一九七、九三五	一、五一三、二六一	七四九、二九一

前記の如く第一回より第二回は益々盛大となり、當局者としては誠に意を強くしたる次第なり。之れに對し縣は各種團體長に感謝状を送付し又は今後一層の協力方依頼の爲座談會を開催せり、

之れと同時に一般縣民に道路愛護の關心を喚起する爲標語を目下募集中なり、斯くして官民一致協力以て本趣旨の徹底を計り以て本運動の隆盛を期待するものなり。